

第10回 2022年度 昭和の森 親子田んぼ教室

親子で体験！ 米作り、田んぼの自然「田植え」

武田 宏子(千葉市)

日 時：2022年4月30日(土)10時～12時、天気：晴れ、気温：16.5℃

参加者：親子7組(大人11名 子ども9名 計20名)

担当指導員：岡山 萩 武田、管理事務所1名

前日の雨も上がり、お日様キラキラ。木々の緑輝く昭和の森ビオトープ田んぼ(蛍田)の土手には、ノアザミ、タンポポ、ケキツネノボタンが花盛りで、シュレーゲルアオガエルの軽やかな声が響きます。シオヤトンボが田んぼの周りに沢山寄っています。

最初に、田んぼ隊長の岡山さんから、ここは生き物を大切にする田んぼなので、農薬や化学肥料は使わず、この森の栄養豊かな湧き水を使って米作りをしているということ。田植えの仕方や田んぼの中の歩き方について説明がありました。

畦に降り、3つの田んぼに分かれました。田植えは親子で30cmごとに印をつけた180cmの竹の棒を前に置き、印の所に苗を植えます。1列植え終わったら竹の棒を30cm前に移動し、植えた苗を踏まないように人も前進します。苗は塊より3本ほどちぎり、その根元を鉛筆のように持って指の第2関節ぐらいまで、泥田にさします。最初はおそるおそる植えていた子ども慣れてくると、大胆になり、途中から後ろに下がりながら植える家族もありました。逃げ惑うオタマジャクシやメダカ、ヤゴなどを間近に見ながら、生き物と田んぼの泥と田植えを存分に楽しむことができました。

田植え後は、田んぼ周りの水辺で生き物探し。子どもたちの元気な声がこだまします。この水路と池は子どもたちが遊べるようにとビオトープ会員が整備中の所です。水槽やバケツにぞくぞくと生き物が集まりました。集まった生き物を共有し、食物連鎖の話をしました。通りかかった人たちが感心して覗き込んでいました。

着替え後、稲の成長・ひみつについて話し合い、今後の成長を見守っていくことになりました。

アンケートより・・・6家族が初参加でした。田植えも生き物観察も楽しかった(子)地面がすごくやわらかくて、面白くて不思議な感覚でした(子)貴重な体験ができた。これからの稲の成長が楽しみ(親・子)

